

八幸山文庫

2907号

特集

盆・施餓鬼のご案内
 ……2・3ページ
 縁日さんば
 ……5ページ
 運営だより
 ……11ページ

興正寺不動三尊にあやかる
 護摩の炎に己を律する不撓不屈の心を誓う



去る六月五日・十三日に不動護摩堂にて不動護摩堂大祭「不動不屈不退転護摩が行われました。参加者には自己の心を律するための訓戒として、僧侶よりひと文字「白戒念字」が授けられました。また東海三十六不動尊霊場お砂踏みもあわせて行われました。

杜のコラム

昔々、出雲の国で二人の神さまが力比べをした。片や大國主の息子、タケミナカタ。片や天照大御神の使者、タケミカヅチ。投げたり投げられたりを繰り返して勝ったのはタケミカヅチ、こうして勝負はつき、葦原中国は大國主から天照大御神の子孫へと譲られることとなった。古事記に登場する国譲りのお話し、この二神の力比べが、相撲のはじめとされる。年に二度の名古屋場所、ファンにとってはさぞかし楽しいことだろう。鬻付け油の佳い薫りをさせながら浴衣姿で歩く力士を見かけるのも、この季節ならではだ。相撲はあまり、という人でも番付表は見たことがあるだろう。大相撲における力士の順位表のことである。中央に「蒙御免」と太書きがあり、この帯を境界に各力士が東西二分され、順に書き込まれているのだが、力士たちの

地位は紙面での表記にはつきりと反映されている。横綱が一番大きく、以下大関、関脇と地位が下がるにつれて小さく細くなっていくため、序ノ口ともなると、もはや肉眼で見ることが困難なほどだ。相撲字、力文字と呼ばれる独特な書体で埋め尽くされるこの番付表、実は行司による手書きだということとはご存じだろうか。

「残った残った」、土俵上での取組進行役としての姿が目立つが、その他にも土俵入りの先導、土俵祭の司祭、場内放送、所属する部屋においては(行司も力士同様、各部屋に所属している)事務の全般、冠婚葬祭の取り仕切りまで、担う仕事は実に幅広い。その中の二つに相撲字の習得もあり、番付は行司の中で最も上手い人が約十日間かけて書き上げるのだという。番付に隙間がないほどびっしり書き込むのは、場所中、お客さんがぎっしり入るようになるとい願いが込められているからだ。

古く永く親しまれ、神事や宮中行事として為されてきた歴史のある相撲には、あちらこちらに不思議や面白さが散りばめられている。ぜひ、それぞれの楽しみ方を探してみたい。

平成29年度 盆・施餓鬼会

- 7/13(木)・15(土) 七月盆
 - 8/6(日)・16(水) 施餓鬼法会・大施餓鬼法会
 - 8/10(木)・15(火) 盆合同供養会
 - 8/11(金) 興正寺施主慰霊法会
 - 8/12(土) 初盆合同供養会
 - 8/14(日)・15(火) 盆踊り
 - 8/15(火) 精霊流し・戦没者追悼慰霊法会
- ※詳細はP.2・P.3にてご確認ください。

永代供養受付 定休日のお知らせ

7月の定休日
 7/4、7/11、7/18、7/25
 毎週火曜日
 (5日・13日・21日と兼山行事開催日を除く)

永代供養、葬儀、墓終い等のご相談は、お気軽に永代供養受付へお立ち寄りください。各種ご案内・ご相談につきましてはご予約優先とさせていただきます。ご来寺希望日の前日までにお電話にてご予約ください。

永代供養受付 営業時間 10:00~17:00 (最終受付は16:30)

8/5(土) 青葉まつり

14時より 西山本堂にて

旧暦六月十五日は弘法大師のお誕生日。緑のあざやかな季節のため「青葉まつり」とよばれます。私たちをいつも見守ってくださっているお大師さまのご生誕をお祝いし、そのご功績を讃える法会です。ぜひご参拝ください。



8/6(日) 布薩会

10時より 西山本堂にて

布薩とは問答を繰り返しながら自己反省をし罪を懺悔告白する儀式です。その歴史は長く、日本で本格的に執り行われるようになったのは奈良時代の中期と言われています。いにしえから運命と続く法会の、深く厳肅な空気の中でご自身を見つめ直す機会としてください。9時45分より、布薩会に臨むにあたっての心構えが説かれます。



△菩薩戒壇(ぼさつがいちよう)

7/4(火)~7(金)

宝物展 ~お地藏さまに会いに~



地藏菩薩 円空光明真言

◎会期 平成29年7月4日(火)~7月7日(金) 10時~16時(※7月7日は15時閉展、最終入館14時30分)
 ◎場所 普門園大書院(入口は竹翠亭から)
 ◎内容 身近な仏さま「お地藏さん」。正式名称は「地藏菩薩」です。多くの「菩薩」の中で、唯一、剃髪した僧形をしておられます。私たちが生まれてから死ぬまで寄り添い、更には死後の世にまで現れて救いの手を差し伸べてくださいます。知っているようで知らない地藏菩薩について、展示解説します。

命の営みに感謝する 私たち家族の勤めとして

平成29年 八事山興正寺 盆合同供養会

予約
優先

仏教本来の由緒正しきご供養をご先祖様へ

※供養代参「遙拝供養」をご希望の方は、お申込み時にお申し出ください。「遙拝供養」については下部を参照。

興正寺での納骨の有無に関わらず、
どなたでもご参加いただけます。

期 間／8月10日(木)～15日(火)
 受 付／西山本堂(10分前までに受付をお済ませください。)
 供養料／一霊 5,000円(「盆供養之證牒」授与)

	10日(木)	11日(金・祝)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)
8:00	○	○	○	○	○	○
11:00	○	○	○	△	○	○
13:00	○	○	○	△	○	○
16:00	○	○	○	○	○	○
19:00	△	○	○	△	○	△

■ … 混雑が予想されます □ … お受けできません
 ※所要時間 30～40分程度

圓照堂にご納骨の方

期 間／8月10日(木)～16日(水)
 受 付／圓照堂(10分前までに受付をお済ませください。)
 供養料／一霊 5,000円(「盆供養之證牒」授与)

	10日(木)	11日(金・祝)	12日(土)	13日(日)	14日(月)	15日(火)	16日(水)
8:00	○	○	○	○	○	○	○
10:00	○	○	○	○	○	○	△
11:00	○	○	○	○	○	○	△
14:00	○	○	○	○	○	○	△
15:00	○	○	○	○	○	○	△
16:00	○	○	○	○	○	○	○
19:00	△	○	○	△	○	△	△

■ … 混雑が予想されます
 ※19時の回は、西山本堂での受付となります。
 ※遺骨・位牌は予約制でお出しいたします。
 ※所要時間 30～40分程度

 申込方法 振込、または来寺にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「遙拝供養」にてお申し込みください。

 初盆合同供養会 本年 初盆をお迎えの方 予約優先
 興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。
 日 時／8月12日(土) 14:00～、15:30～、17:00～
 供養料／一霊 5,000円
 ※お時間の15分前までに受付をお済ませください。
 ※當山へご納骨済の方へは、時間を指定した申込書をお送りしております。

 興正寺施主慰霊法会
 興正寺が施主となり、當山に有縁の方のご供養を修します。
 日 時／8月11日(金・祝) 14:30～
 ※当法会の見学は自由ですが、ご自身が施主となつてのご供養をおすすめします。盆合同供養会へお申し込みください。

遙拝供養とは？

「遙か遠く離れた場所からでもご先祖を拜む」の言葉通り、興正寺にて厳修される各合同供養会や慰霊法会に、ご都合が合わず参加できない皆さまの為にご用意させていただいた、興正寺ならではの供養スタイルです。
 お申込みさえお済ませいただければ、あとは興正寺僧侶が皆さまに代わって、真心を込めて読経を厳修し、仏さまやご先祖さまのもとへ、皆さまの善行をお届けいたします。「遙拝」をされる皆さまはどうぞご自宅やお仕事先などから、ご先祖さまに心を込めて手をお合わせてください。その気持ちがご供養の大切な心です。

興正寺での納骨の有無に関わらず、どなたでもご参加いただけます。



お施餓鬼の いわれ



お盆の「供養」と、いわゆる「お施餓鬼」とは全くの別のものであることをご存知でしたか？

お盆(仏教における正式呼称は「盂蘭盆会」)の間中は、盆供養とお施餓鬼の法会を同じ時期に行う寺院も多く、一般の方には混同されてしまいがちです。

しかし、本来のお施餓鬼とは、1年365日を選ぶことなく、あの世にいらっしゃるご先祖様の為に塔婆を捧げ、その功德をお繋ぎする尊い営みなのです。

お施餓鬼とは

興正寺では1年を通じて、毎日お勤めしている法儀の一形態です。お釈迦さまと阿難の故事に由来し、あの世の「六道」のひとつ、「餓鬼道」にいる餓鬼(生前の悪行によって餓鬼道に落ち、常に飢えと渇きに苦しんでいる魂)や水や食べ物のお供え(施し)をして、その苦しみを和らげ供養するのが、お施餓鬼です。その功德はご先祖さまへも及び餓鬼道へ落とすことなくそのままご供養へと繋がると同時に、施餓鬼塔婆には、福德延寿や子孫長久の功德があるとされています。

施餓鬼法会(6日)・大法会(16日) **予約優先**

日時/8月6日(日) 15:00~
8月16日(水) 11:00~、13:00~、15:00~

場所/西山本堂

受付/普照殿(10分前までに受付をお済ませください)

塔婆料/塔婆「一霊」の場合:

六尺 30,000円/五尺 10,000円/四尺 5,000円

塔婆「先祖代々」の場合:

六尺 50,000円/五尺 20,000円/四尺 10,000円

※所要時間 30分~1時間程度(待ち時間含む)

申込方法 振込、または来寺(納経所)にて ※ご都合が合わず、参列できない方は「通拝供養」にてお申し込みください。

塔婆とは?

「卒塔婆」の略語で、サンスクリット語のストゥーパがルーツ。昔、釈迦が入滅したあと、その舍利(遺骨)を納めた塔(ストゥーパ)を建てて供養したのが始まり。卒塔婆は、故人や先祖を供養する追善供養(生きている人が亡くなった人に対して行う供養のこと)の目的で建てられます。追善の文字があらわすように、生きている人が亡くなった人の代わりに、この世で行う行為で、その功德はまた自分に戻ってくるという考えです。

塔婆
大きさ
一覧



興正寺の塔婆は、1本1本手書きでおつくりしております。



精霊流し(盆飾り供養)

盆飾りやお供えをお持ちください。送り火として流そうそくを授けたいしますので、御霊をお送りください。

日時/8月15日(火) 17:00~20:00

受付/西山本堂前テント

供養料/1,000円(送り火用紙らそく様)

◆ご希望の方には500円で流そうそくのみ授けいたします。
盆飾りをお持ちでない方も、どうぞ一緒に御霊をお送りください。



盆踊り

盆踊りとはもともとは仏教行事で、平安時代に始められた念仏踊り(願念仏)が盂蘭盆の行事と結びつき、精霊を迎える死者を供養するための行事として定着していったのが始まりと言われています。

日時/8月14日(月) 17:00~20:30
15日(火) 17:00~20:30

受付/五重塔前やぐら

寺通

その三十七

たかのしょうせい
高野 正清

七月に入りました。私は夏といえは、スイカ・ひやむぎ・鰻と食べ物ばかりが浮かんでしまいます…。これからも暑くなりますと、食べる気力さえなくしてしまわれる方が多いのではないのでしょうか。暑くてもしっかりと食べて元気に興正寺にご参拝ください。

平成二十九年の寺通も今月号から後半戦。半年をかけて、お大師さまこと、弘法大師空海の生涯のお話をしていきます。

真魚さまご誕生

むかし讃岐国(現在の香川県周辺)に佐伯直田公と玉依御前という仲の良い夫婦がいました。佐伯直田公は讃岐国で郡司を務めておりました。郡司とは都から派遣された国司の下で地方を納める官職の事です。今で言えば市長さん、県知事さん、といったところでしょうか。

二人はとても信仰の深い夫婦でした。玉依御前は子を授かり、来る日も来る日もはやく子が無事に生まれてくるようにと手を合わせていました。そんなある日のこと二人は不思議な体験をします。「インドの高僧が西方より飛来し、紫色に輝く雲に乗って、玉依御前の胎内にはいつていく」という夢を同時に見たのです。翌日、玉依御前は産気づき無事出産。宝亀五年(七七四)六月十五日、男の子が生まれ「真魚」と名付けられました。この真魚さまが後の弘法大師さまです。



△稚児大師

捨身誓願

真魚さまは父母の慈愛の中で育っていきます。幼き頃から「かしこもの(賢者)」と呼ばれた真魚さまの遊びは、土で仏さまを作り、草や木を集めてお堂を作り、手を合わせる事でした。

七歳にして、この世界と人々を救うという誓願を立てます。捨身ヶ嶽に登り三世(前世・現世・来世)の諸仏・十方の菩薩に念じ、「私が大きくなりましたら、世の中の困っている人々をお救いしたい。私にその力があるならば、命を承らえさせてください」と祈り、深い谷底めがけてとびおりました。すると、どこからともなく美しい音楽とともに天女が現われ、真魚さまをしっかりと抱き止めたと言われています。

幼少時のお大師さまの伝説は数多くありますが、この捨身ヶ嶽のお話は有名なものの一つです。

都での勉強

元々佐伯家は都に仕えて守護をする家系だったようです。真魚さまは将来の佐伯家を担うべく、存分に期待を寄せられておりました。讃岐で勉強を重ねたのち、十五歳で都に出て、叔父の儒学者阿刀大足について論語、歴史、文章などを学び、十八歳で大学に入られたのです。当時の大学は、自由に学ぶ場所、というよりも国の官僚候補生を育成する機関であり、学生は貴族の子息に限られていました。地方の郡司の息子が大学に入る事は異例中の異例だったのです。

大学で学ぶ真魚さま。しかし、そこで教えられる儒学を中心とする学問は、出世を目的とする役人のためのものであり、周りの学生たちも自身の箔をつけるためだけに通っている者ばかりでした。世の中の困っている人を救うための学びを求めていた真魚さまは次第に大学での授業に興味を失い、仏教に興味を持ちようになり、そして、そんなある日、一人の僧侶に出会うことになるのです。

来月はお大師さまの出家のお話からしたいと思います。

南無大師遍照金剛

△捨身ヶ嶽

ツウの細道

真言宗では、真魚さまがお生まれになった旧暦六月十五日を「青葉まつり」と称して、お大師さまのお誕生をお祝いしています。興正寺では今年八月五日に行われますよ。ぜひご参拝ください。



縁日さんぽ

今月の縁日さんぽは、能満堂(毎月13日虚空蔵菩薩縁日、24日地藏菩薩縁日)のご紹介。

人々の願いを「能満堂」 能く満たす

享保2年(1717)6月に尾張徳川家6代藩主 継友公の発願により藩主が祈禱するためのお堂として建立されました。興正寺が、尾張家の「祈願所」と呼ばれる由縁は、この能満堂の建立にあります。

能満堂には虚空蔵菩薩(秘仏)、地藏菩薩、大黒天の三尊が祀られ、様々な願いを叶えんと、年間を通して多くの人たちが参拝に訪れます。

弘法堂の年間行事

◆能満堂秘仏開扉(3月5日・13日)

興正寺能満堂にいらっしゃる虚空蔵菩薩さまは秘仏で、年に1度だけ開扉されます。記憶力向上に靈験あらたかで、合格祈願やほけ封じ、また丑年寅年生まれの御本尊として篤く信仰されています。

◆地藏盆(8月24日)

子ども達の健やかな成長を願う地藏盆。8月は「お寺でお泊り会」の子どもたちと一緒におつとめをします。おつとめのあとは大数珠回し、お坊さんの紙芝居、前かけ(よだれかけ)奉納と、夏の境内にぎやかな声が響く一日です。

◆七五三・十三参り・合格祈願など各種祈禱

“人々の願いを能く満たす”お堂には、様々な願いを持った人たちが祈願にいらしゃいます。智慧授けの虚空蔵菩薩、子ども守りの地藏菩薩がいらっしゃるから、お子さまと共にご家族でいらっしゃる方が多いことが能満堂の特徴です。



お参りしよまい!興正寺の諸堂縁日

興正寺の縁日は5日と13日だけじゃありません!山内のあちらこちらにある御堂で、様々な仏さまをお祀りして縁日のおつとめを行っています。誰でも参加できるこれらの縁日、御堂や担当のお坊さんによって雰囲気全然違うんですよ!

8日 大日如来 (大日堂) 高野正清	15日 阿弥陀如来 (奥之院) 渡邊正大	18日 観世音菩薩 (観音堂) 西山海良	21日 弘法大師 (弘法堂) 三井正優	24日 地藏菩薩 (能満堂) 豊田正純	28日 不動明王 (不動護摩堂) 小松永明
-----------------------------	-------------------------------	-------------------------------	------------------------------	------------------------------	--------------------------------

諸堂奉納幟旗のご案内

夏の各法会に合わせ、観世音菩薩・地藏菩薩の幟旗奉納を承っております。奉納期間はそれぞれ一年間です。お申し込みは納経所まで。

●観音堂 九万九千日

8月10日(木)
9時より 観音堂にて

この日にお参りをすれば、九万九千日分の功德がいただける「九万九千日法会」が、興正寺西山観音堂で厳修されます。観世音菩薩との勝縁をぜひ、お結びください。

●地藏菩薩大祭縁日「地藏盆」

8月24日(木)
13時より 大書院にて

地藏盆は8月24日前後に行われるお地藏さまのお祭りで、子どもたちの成長や幸福を願い皆で集まります。興正寺では子ども達と一緒に大数珠回しを行います。



団体参拝報告

6月1日 高野山団体参拝



(随行僧侶) 渡邊正大

今回、同行致しました渡邊正大です。この時期らしい清々しいお天気の中での参拝となりました。奥之院では、杉の巨木の中を抜けての御廟参拝。聖地といわれる所以を肌で感じていただけたようでした。壇上伽藍では根本大塔を中心にお大師さまが密教思想に基づいて造営された世界をご覧いただきました。興正寺では随時、団体参拝を行っておりますので多くの方にご参加頂いて仏縁を結んで頂ければと思っております。合掌



人と街とお寺をつなぐ場所
八事山文庫
地域版

文月 ふみづき
旧暦七月のこと
七夕にちなんだ「文披月」
稲穂ふくらむ「稲含月」

小暑 しょうしょ
七月七日
梅雨が明け、蝉が鳴きはじり、暑さが本格的になってくる頃。暑中見舞いを出す時期でもある。

大暑 たいしょ
七月二十三日
一年でもっとも暑さが厳しく感じられる頃。各地で夏の風物詩である花火大会や祭りが催される。

ひと

興正寺と共に、神仏一体で地域の人の縁結びをしていきたい。

須佐之男神社 氏子総代 関原康成さん

興正寺から徒歩5分ほどの場所にある須佐之男神社。古事記において八岐大蛇を退治したことで有名な須佐之男命が祀られている。その須佐之男神社と興正寺との縁を語ってくれたのは、氏子総代を務める関原さんだ。

興正寺で行われた地域のおまつりで、須佐之男神社を含めた地域の神社仏閣を巡るスタンブラーを行い、知ってもらおうきっかけを作ったそうだ。その後も、地域イベントだけでなく互いの行事に出向いたり、御寄進を納めるなど、互いに支え合っている。「昔この辺りの人は、初詣はこの神社や興正寺など周辺の神社仏閣をひと通りお参りするの習慣だったようです。地域の人と神社が慣例だったようです。地域の人と神社仏閣との結びつきを再び取り戻したいですね。」と関原さん。

「宗教的な観点からすれば神社とお寺は別物なのかもしれませんが、人々の心よりどころとしては神社もお寺も一緒だと思えます。だから、一緒に地域を盛り上げていく場として発展していきたいですね。」と関原さんはイキイキと語った。

この地域を共に見守ってきた仲。昔は地域の人が集う場所として賑やかだったが、時代の流れとともに人の足が遠のき、祭事があっても人が集まらなくなっていた。何とかしたいと思っていた時、地域の活性化を目的としているいろいろな「商店街発展会」に参加することに。もともと会に参加していた興正寺と出会い、その縁で新たな催しを行った。

須佐之男神社では、長い間倉庫に眠っていた獅子頭を修繕し獅子舞を復活させたところ、お年寄りからは「懐かしい」と喜ばれ、獅子舞を知らない世代

からは「初めて見た！」と興味をもってもらえたという。また、地元小学校PTAの有志のお父さん達でつくる「親父の会」の、地域のことをもっと知りたいという声に応え、神社で防災に関するワークショップを開くなど、地域との繋がりの場を積極的に提供している。今後は、興正寺のお坊さんの法話を聞く会なども開催してみたいとのこと。



△明治35年から現在まで115年間、地域の氏神として祀られている須佐之男神社。



△神社の倉庫に眠っていた古い獅子頭と和太鼓を修繕し、現代に蘇らせた。



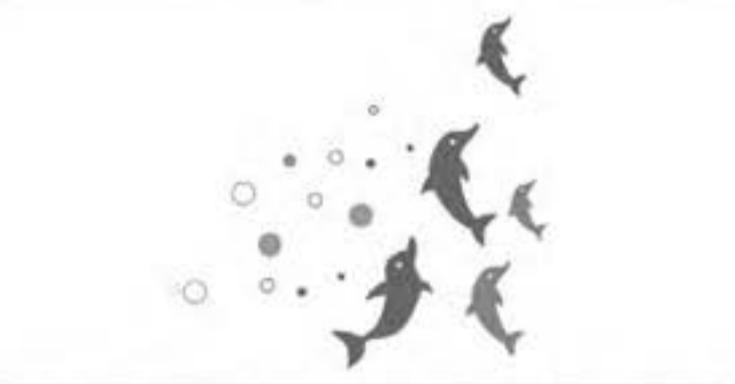
●関原 康成さん
奥様が須佐之男神社の宮司さんと知り合い、お手伝いをしていたことがきっかけとなり、関原さん自身も神社に携わるようになった。現在、氏子総代として地域と神社の縁結びに力を入れている。

親子で読みたい
ことのはあそび

「身口意」。身体・言葉・心、この三つを同時に高めていくことが大切だというお大師さまの教えの一つです。このコーナーでは、声に出して誰かに聞かせてあげたい言葉たちを毎月ご紹介していきます。

いるかいるか / いないかいるか
いないかいるか / いつならいるか
よるならいるか / またきてみるか
いるかないか / いないかいるか
いるかいるか / いつばいいるか
ねているいるか / ゆめみているか

「いるか」谷川俊太郎



まさにことのはあそび。リズムはとっても良いのに、意味を考えながら声に出して読むと、なんだかこんがらがりそうになります。海豚、イルカ、いるか。さて、この詩のなかに動物の「いるか」は何回でてくるでしょう。谷川俊太郎(1931~)は東京都出身の詩人、翻訳家、絵本作家、脚本家。「いるか」のように子どもが読んで楽しめるものから、実験的なものまで幅広い作風を特徴としており、作品は各国の言葉に訳されて、世界中に読者を持っています。



蛭燈池のアジサイ

昨日 今日 あした…

八事のお山の

八事のお山も初夏の装い。春の花はどちらかと言えはピンクや白で薄化粧します。初夏は青や紫系での化粧が濃く感じます。日増しに深くなる緑の中に、紫陽花や花菖蒲の紫、濃紺のタマリユウの実やユスラウメの深紅の実、ヤマボウシの緑がかった白い花が美しい。

です。日差しの中、雑草と呼ばれてしまう野花たちもとても元気。種類ごとにちゃんと名前があり、その可憐さに見ほれてしまいます。が！実は中にはどうしても、駆除しなくてはならない植物もあるのです。数年前から増えてきたセイタカアワダチソウ、オオキンケイギク、策も辛いところですよ。



通称「プランの樹」金寶樹の赤い花

初夏の日、逞しい命を感じながら八事のお山を歩いてみませんか。(井上)

●甘味・食事処「八琴庵」より

営業時間変更のお知らせ

誠に勝手ながら、営業開始時間・ご提供メニューを変更させて頂きます。ご了承の程宜しくお願い申し上げます。(2017年1月28日より)

※みたらし団子、モーニングセットは都合によりしばらくお休み致します。
※「そばがきぜんざい」「ヤゴトラカンセット」「お湯路もなか」の甘味は下記時間帯でお召し上がりいただけます。

毎月5日、13日の緑日	9時～16時(L.O.15時30分)
上記以外の日	10時～16時(L.O.15時30分)

お知らせ
掲示板

予約販売開始 ヤゴトラカン



八琴庵 営業時間と定休日のお知らせ

営業時間 9:00～16:00(L.O.15:30)
定休日 毎月5日を過ぎた火曜日
7月は7月11日(火)、8月18日(火)です。

ご要望多数につき、そばがき饅頭「甘味長命菓 ヤゴトラカン」の予約販売を開始させていただきます。お渡し前日までに、八琴庵にてご予約ください。

- 【価格】3個入り/590円
- 【販売場所】甘味・食事処 八琴庵
- 【予約方法】
 - ❖お渡し前日(営業時間内のみ受付)までに八琴庵にてご予約ください
 - ❖先払いのご予約のみ受付(当日販売は致しかねます)
- 【お問合せ】TEL. 052-832-2801 (八琴庵まで)

愛知サマーセミナー 2017 講師参加します!

「地獄極楽、六道ツアー!! 仏教絵解きライブ」

(講師)興正寺僧侶 梶田英伸

一度見たら目が離せない、地獄や餓鬼、畜生など六道の世界が描かれた掛軸「熊野観心十界曼陀羅」。老尼僧に扮した僧侶が、おもしろく、ときに恐ろしく絵解きします。1時間たっぷり、仏教ワールドを堪能できます!

日時 平成29年7月16日(日) 11:10～12:30 / 13:10～14:30(予定)

参加費 無料 定員 40名(事前予約優先)

お問い合わせ・お申込み 電話(052-832-2801)

FM80.7に、知っているお店が登場するかも?! 八事山興正寺の提供でお送りするFM新番組!

笑顔とシアワセおすそわけ

黒江美咲のふらっと街巡り 毎週日曜 10:55～11:00

黒江美咲にはその街の記憶を語る先人がいて、その話を聞いて官った、地元を愛する人がいて、その街に惹かれて集まる人がいて、街の歴史に新たな1ページが加えられます。そんな「もっともっと地元を好きになってほしい」という想いから生まれた八事山興正寺提供の番組です。パーソナリティ:黒江美咲

仏事の



仏事のこと、なんでも知ってるよって人はいますか? 自信をもって手を挙げられる人は少ないんじゃないかな。いざその時になってみないとわからない仏事のおあれやこれ、お坊さんに聞いて一つずつ解決しちゃいましょう。

その30 「お参りの仕方④」(全5回)

さて、お供えも終わりました。いよいよ本堂に行ってみましょう。もし数珠を持ってきていたら左手に掛けます。帽子をかぶっていたらとりましょうね。姿勢を正して一揖をし、鯛口や鳴り物があれば鳴らします。気持ちと呼吸を整えて合掌し、仏さまにご挨拶したら、最後にもう一度一揖。これが基本の所作です。

揖は、お軽いお辞儀のことですよ。大体15度くらいかな。ちなみに礼は30～45度、拝となると90度だから、いちばん丁寧だね。

知らなかった!

できるようであればこの時にご真言を唱えるとより丁寧なお参りになります。ここからは次に説明するね。

おっさま、一揖ってなんですか??

興正寺ホームページでは仏事のお悩みをスッと解決!トップページから、「仏事とお墓のお悩み解決」をクリック!

寺宝

通心

寺宝公開②5 お地藏さまに会いに



興正寺は三三〇年を越える歴史があり、その中で集まった多くの文物を所蔵しています。それらは大切に保存管理されるだけでなく、広く一般に公開する機会が設けられています。展覧会は、仏像、仏画や風景画などの絵画、書、文書、書籍、経典など多くの資料の中からテーマを決めて展示品を選定し、その来歴や表現しているものを調査した解説を添えて作りあげます。

毎回、新たな発見がある楽しみと、どう表現するかの苦しみを رفتり来たりしながらどうにか開催に漕ぎつけるのですが、実はここが完成形ではありません。来場された方々とお話をさせていただき、異なる視点や疑問に触れることで広がり生まれ整っていくのです。

夏の地藏盆を控えた七月の宝物展では、「地藏菩薩」を取り上げます。数多の仏さまがお堂に祀られることが多い中、町の辻や田んぼ道、はたまた深い山の中といったところで見かけるお地藏さま。



△地藏尊

*夏の宝物展 七月四日~七月七日(十時~十六時)
 *普門園拝観 五百円(お茶付)
 *拝観券は「納経所」でお求めいただけます

柔和な顔で赤い頭巾とよだれかけをつけたお姿は、「あたりまえ」の光景として私たちのなかに根付いており、最も身近な仏さまとなっているのではないのでしょうか。

ふと気づくとそこにある存在として、いつも見守っていてくださるお地藏さまですが、実はとても「忙しい」方でもあります。知っているようで知らない様々なお姿を、資料を通してご紹介します。

夏に入ったばかりの境内は、深緑の葉が陽ざしをやわらげてくれます。お参りのついでに宝物展にも足を伸ばしてみてください。

(川村)

—八事の杜の翠に囲まれたお茶席です—

興正寺 月釜



- ◆開催日 平成29年7月8日(土)
- ◆時間 10時~15時(9時より受付)
- ◆掛釜 竹翠亭 裏千家 小塚宗康
※興正寺担当の耕雲亭席もあります
- ◆茶券 (薄茶席二席)1,500円

—竹林に囲まれたお茶室で、七夕の夜に想いを馳せる—

*** 七夕月の室礼 ***

- ◆期間 平成29年7月1日(土)~7月7日(金)
- ◆時間 10時~16時 ※7/7は12時まで
- ◆場所 興正寺 茶室竹翠亭
- ◆拝観料 500円(季節の和菓子とお抹茶付)

竹翠だより お茶が教えてくれた しあわせ

蹲と躡り口

「躡り口」は60センチ四方の茶室への小さな入口です。そこへ至る「露地」は日常から非日常へいざなう庭。客はその途中の「躡」で手と口を清めます。

先日、茶の屏教室で蹲を使い躡り口から入る稽古をしました。辺りの気配や空気を感して心を落ち着かせ、ゆっくりとこの一連の流れをやってみましょうと提案しました。生徒の皆さんは美しい所作で茶室に入りました。興味半分は通過してしまおうと狭かったというだけで、本来の意味はなかなか理解できません。

たとえ稽古であつても、茶室は安息の場であつてほしいというのが私たちの一番の願いです。茶室へいたるまでの空間は、肩の荷を下ろして力を抜き、一個人としてもてなされる心持ちになる「リセットのための通り道」であつてほしい。

「もてなし」とは、一方的に相手を持ち上げ、丁寧に失礼がないように、必要なものや場所、時間を提供するものではありません。お茶の世界ではある相手に対しての自分しかできないもてなしを追い求めます。このもてなしが何なのかを言葉で説明するのは難しいことです。それはきつと何度ももてなし、もてなされて、やっとわかるものだと思います。

八事山歳時記

興正寺月釜

去る五月十三日、興正寺月釜が開催されました。生僧の雨模様となりましたが、表千家・柴田紹和先生のもと、多くの来場者が訪れ深緑の中の茶事を楽しまれました。



不動護摩堂大祭 不動不屈不退転護摩

不動明王をお祀りする不動護摩堂の大祭が六月五日・十三日に行われ、東山奥之院においては東海三十六不動尊霊場お砂踏みが開壇されました。不動明王は、平安時代に弘法大師によって唐より伝えられた密教特有の仏で、厄除や交通安全の利益をいただけるとして広く信仰されています。



秋の収穫を願って 大日堂苗植え祭

六月八日の大日如来縁日に、苗植え祭が行われ、僧侶と参拝者、そしてやまさと保育園の子どもたちが、汗を流しながら土に苗を一つずつ植えていきました。これは大日堂下の畑に芋を育てようと今年から行われる試みで、約半年間育てていき秋の収穫を目指します。



八事の杜にホタルが遊ぶ 観螢会

六月十日に毎年恒例の観螢会が開催され、抽選で選ばれた子どもたちがホタルの放流(放生会)を行いました。当日は、僧侶が参加した子どもたちの健やかな成長を願い加持した後、一人ずつホタルを手渡ししました。子どもたちはホタルをしっかりと観察したのち、生命への感謝の気持ちを込めてピオトープへ放していました。



竹翠亭 想耕茶会

竹翠亭の想耕茶会が六月七日、「螢」をテーマに行われました。名古屋市内十一施設で開催されたお茶会スタンプラリーの期間中とも重なり、多くの参加者が季節の茶席を楽しみました。想耕茶会は、偶数月に竹翠亭で催される茶会で、どなたでも気軽に楽しんでいただけます。



皆さまの「やりたいこと」を応援します！

「つづき展」五月十二日～十四日 新回廊にて

見事なつづきの盆栽が並び、質問コーナーもあり、参拝の皆様も歩みを止めてしばしの眼福でした。主催の天白つづき園「日本早月協会」理事近藤様にも喜んでいただけました。

世界的に広がった日本の盆栽ですが、国内ではやはり後進の育成が問題のご様子。「先人から伝わっている知識と技術を、少しでも未来に伝えていくことが目標」と、愛おしそうに花を見つめながらのお言葉が...とても印象的でした。



3年半かけ知多四国巡礼 「楽歩の会」満願報告

八事山興正寺「けがなく幸せ」

知多四国八十八カ所巡りを終えた楽歩の会メンバーのウォーキンググループ「楽歩の会」(山)は、3年半かけて知多四国八十八カ所巡りを終えた。満願報告に興正寺へ参拝いたしました。当日はメンバーと先達、支援者ら33名が参加し、辨田僧侶の案内の元で御礼参りをしました。



半年をかけて参りの礼(71)は「祝勝会」が所を回り終えた。26日(日)は雨天にもかかわらず、メンバーは「けがなく幸せ」を体験した。当日は「金剛が護衛を導き、多摩川を渡り、辨田僧侶の案内で御礼参りをした。先達の辨田僧侶さん

去る5月26日(金)、視覚障害者らのウォーキンググループ「楽歩の会」が、3年半かけて知多四国八十八カ所巡りを終えた。満願報告に興正寺へ参拝いたしました。当日はメンバーと先達、支援者ら33名が参加し、辨田僧侶の案内の元で御礼参りをしました。

この様子は毎日新聞(2017年5月27日発行分誌面)に掲載されました。

能満堂修復志納

芳名

植樹・献木志納

芳名

(二口) 粕谷一美

自 平成二十九年 五月一日
至 平成二十九年 五月三十一日

ありがとうございました。

心より感謝申し上げます。合掌

八事山興正寺

(順不同敬称略)

— お寺の法会まるごと体験! —

いち にち しゅう よう え

一日修養会

平成29年の一日修養会、テーマは昨年に引き続き「興正寺の法会」。

季節ごとにおこなわれる法会を、詳しくわかりやすく解説いたします。内容を学んでから法会にご参加いただく体験は、興正寺ならではの体験です。法会参加者には特別朱印の授与もごさいます。

今年は各回、特別講師を招いて対談やレクチャーなども予定しております。

写経の時間もごさいます。こちらも僧侶が解説いたしますので、初めての方も安心してご参加いただけます。皆さまふるってご参加ください。

平成29年8月6日(日) 9時30分~15時

「布薩会—法話・特別対談(予定)・法会参加・写経」
~戒めを守る誓いを新たにす日~

インドの雨季の3か月、仏教徒が托鉢をせず一か所で行住することを夏安居といひます。夏安居の終わる日に修行僧たちが集まって各々の修行の成果を確認し、反省するのが布薩会です。場を清め、参加者の身体も清めて、ようやく戒めを守っているかどうかの確認がおこなわれます。律寺としての古式を今に伝える法会です。

◎支 具 料: 一般 2,300円 / 社の譽会員 1,300円
(昼食付・特別朱印授与)

◎定 員: 60名 要予約 ◎申込締切: 8月3日(木)

◎お問合せ・お申込み: 052-832-2801

※スケジュールや内容は状況などにより変更になる場合がございますのでご了承ください。

※支具料は事前にお納めいただけます。

(今後の予定)
12月3日(日)

八事山 興正寺 受付時間のご案内

受付時間	受付内容
9時~16時 (最終受付15時30分) 【予約優先】	当日受付はお持ちいただく事があります ※西山本堂(霊障殿・位牌殿)は毎時00分より 開堂は毎時30分より
8時~18時	御守・御朱印・おみくじ・納経・その他授与品
10時~17時 (予約優先)	毎週火曜定休 ※毎月5日・13日・21日と行事日を除く
10時~16時 (最終受付15時30分)	拝観料 500円(本堂拝観までの送迎付・不定休) ※毎月5日・13日 9時~
10時~16時 (L.O.15時30分)	毎月5日を過ぎた火曜定休 ※毎月5日・13日 9時~

各諸堂の参拝時間 (お堂の外からの参拝は24時間可能)

諸 堂	開 堂(堂内参拝可)	閉 扉
西山本堂 霊障殿・位牌殿含む	毎日 8時~17時 ※法会中はお持ちいただく事があります	
大日堂	毎月8日 12時30分~14時	
龍満堂	毎月24日 13時~14時30分	左記開堂日程外 9時~16時
奥之院	毎月15日 13時~14時30分	毎月5・13日 9時~13時
観音堂	毎月18日 13時~14時30分	
弘法堂	毎月21日 10時30分~12時	左記開堂日程外 9時~16時
不動護摩堂	毎月28日 14時~15時30分	

行事等により変動する場合がございます。ご了承ください。

霊籠堂の参拝時間 (下記行事以外の通常時/開堂8時~閉堂17時)

行 事	日 程	開 堂 ~ 閉 堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	7時30分~17時
春季彼岸 ※1	3月17日~23日	7時30分~17時
観音会	6月10日	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	7時30分~20時
八月盆・無縁鬼 ※1	8月10日~16日	7時30分~17時
秋季彼岸 ※1	9月20日~26日	7時30分~20時
観月会	10月4日	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	8時~20時

※1 19時より合同法要のある日は供養会終了時まで

圓照堂の参拝受付時間 (下記行事以外の通常時/9時~17時 最終受付16時30分)

行 事	日 程	受付時間(位牌・おみくじ)	本堂開堂 ~ 本堂閉堂
年末年始	平成28年12月31日~平成29年1月3日	事前予約制 ※1	7時30分~17時
春季彼岸	3月17日~23日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
観音会	6月10日	9時~19時30分	8時~20時
七月盆	7月13日~15日	事前予約制 ※1	7時30分~20時
八月盆・無縁鬼	8月10日~16日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
秋季彼岸	9月20日~26日	事前予約制 ※1	7時30分~17時 ※2
観月会	10月4日	9時~19時30分	8時~20時
千燈祭	10月7日~8日	9時~19時30分	8時~20時

※1 受付時間については、お問合せください。

※2 19時より西山本堂で合同供養会のある日は供養会終了時まで

編集後記
夏の甲子園への、たった一枚のキップを賭けて、高校球児たちが熱戦を繰り広げる季節です。チームが全力を出し切れるようにと願います。(千)

7月の興正寺講座

※日程・会場は変更する場合がございます。事前にお電話にてご確認ください。

仏讃歌

御詠歌上級

講師 鈴木隆弘

7月11日・19日 13時30分より 光明殿

金剛流御詠歌の上級者向け講座です。

御詠歌初級

講師 鈴木智弘

7月9日・21日・30日 14時より 光明殿

金剛流御詠歌の初級講座です。21日は本堂出仕。

御詠歌入門

講師 鈴木智弘

7月1日・15日 14時より 光明殿

金剛流御詠歌の超入門、お作法や符の読み方からはじめます。

体験する

阿息観(密教禅)

講師 杉浦宣秀

7月20日 14時より 普照殿/奥之院

ストレスゼロをモットーに、毎月ゼロの日(10・20・30)にやっております。誰でも心地よくリラックスできますよ!

阿字観

講師 杉浦宣弘

今月はお休みです 奥之院

真言密教の基本的な瞑想法です。阿息観で基本的な呼吸法を習得してから受講することをお勧めします。

写経・写仏

講師 梶田英伸

7月21日 11時より 光明殿

毎月21日マルシェの日に行われる、写経写仏の体験です。どなたでもご参加いただけます。13時より法話あり。

学ぶ

仏教入門講座

講師 森田泰澄

7月27日 14時より 普照殿

難しい用語を使わず、お経を中心に勉強していきます。脱線話も多いので気楽に参加できますよ。

仏典読み解き講座

講師 梶田英伸

7月18日 10時より 普照殿

仏典(仏教典籍)とは、仏教における権威ある書物のこと。ここでは、地獄極楽の古典的名著『往生要集』を読み解いていきます。

健康づくり

ゆらゆらペアストレッチ

講師 町田一寿

7月13日 ①10時②11時30分より 普照殿

支具料1,000円(予約優先・当日参加可)

TERA-YOGA(寺ヨガ)

講師 西口のぞみ

7月21日 10時より 普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

マタニティヨガ

講師 西口のぞみ

7月21日 13時より 普照殿

支具料2,000円(要予約・メ切前日17時)

遊翠の心

茶室・竹翠亭にて行われる少人数制の講座です。時間や講座内容については、竹翠亭へお問い合わせください(全て要予約)。

写経

7月11日 講師 西山海良 支具料1,500円

阿息観

7月25日 講師 西山海良 支具料1,500円

日々折々の書

7月24日 講師 中村 均 支具料2,000円

水墨画

7月28日 講師 山田静舟 支具料2,000円

きもの装い(入門・応用)

7月12日 講師 小泉美代子 支具料2,000円

茶の古典を読む

7月6日 講師 梶田英伸 支具料1,500円

御詠歌上級・初級を除くすべての講座でWEB予約が可能となりました。興正寺公式ホームページ「まなびの講座WEB受付」よりお申し込みください。

興正寺さくらカレッジチャリティー募金のご報告

【運営だより】

三月に開催された興正寺さくらカレッジにて、皆さまから寄せられました募金を、今年は昭和区、天白区、瑞穂区の社会福祉協議会へ寄付させて頂きました。それぞれ、年配者の皆さまが集うサロンの充実や、高齢者の生活を支えるお手伝いの一環にして頂けると伺いました。皆さまのご協力に深く感謝申し上げ、善意の輪がますます広がっていく事を心より願っております。



瑞穂区社会福祉協議会



天白区社会福祉協議会



昭和区社会福祉協議会

興正寺行事カレンダー

7月

普門園拝観時間 10:00~16:00
休園日/8日(土)・9日(日)・16日(日)

月	火	水	木	金	土	日
26 先勝	27 友引	28 先負	29 仏滅	30 大安	1 赤口 ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	2 先勝
3 友引	4 先負	5 仏滅 ○大随求明王 縁日 露店アリ 10:00 干支成満巡り	6 大安 ▽遊翠の心 茶の古典を読む 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 梶田 英伸	7 赤口 小暑	8 先勝 ○大日如来縁日 12:30 大日堂 理趣分経祈禱 ☆月釜 裏千家 小塚宗康 興正寺 薄茶二席 1,500円	9 友引 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
夏の宝物展「お地藏さまに会いに」 大書院 10時~16時(※7/7は最終受付14時30分)						
★永代供養受付定休日		大随求明王			大日如来	
10 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	11 仏滅 ▽遊翠の心 写経 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 智弘	12 大安 ▽遊翠の心 きもの装い 10:00 13:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	13 赤口 ○虚空蔵菩薩 縁日 露店アリ 10:00 法話会 10:00 干支成満巡り ☆ゆらゆらヘアストレッチ 10:00 11:30 普照殿	14 先勝	15 友引 ○東山 奥之院縁日 13:00 奥之院 善之綱おくり ▽御詠歌入門講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘	16 先負
○七月盆合同供養会						
★八尋庵定休日 ★永代供養受付定休日			16:00 西山本堂	8:00 11:00 16:00 西山本堂	8:00 11:00 16:00 西山本堂 ★葵燈籠会 18:00 西山本堂	
			虚空蔵菩薩		阿弥陀如来	
17 仏滅 海の日	18 大安 ○観世音菩薩縁日 13:00 観音堂 護摩祈禱/法話 ▽仏典読解講座 10:00 普照殿 梶田 英伸	19 赤口 ▽御詠歌上級講座 13:30 光明殿 鈴村 智弘	20 先勝 ▽阿息観 14:00 普照殿 杉浦 宣秀	21 友引 ○弘法大師縁日 10:30 弘法堂 読経/法話 ○月釜御影供 14:00 本堂 ▽写経写仏講座 11:00 光明殿 ▽御詠歌初級講座 14:00 本堂出仕 鈴村 智弘 ☆TERA-YOGA 10:00 普照殿 要予約 ☆マタニティヨガ 13:00 普照殿 要予約	22 先負 戌の日 ○安産合同祈禱会 14:00 本堂	23 赤口 大暑
☆夏休みラジオ体操 6:30 五重塔前						★お寺でおとまり会
★永代供養受付定休日				弘法大師		
				興正寺マルシェ		
24 先勝 ○地藏菩薩縁日 13:00 大書院 大数珠おくり/ 紙芝居 ▽遊翠の心 日々折々の書 10:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	25 友引 ▽遊翠の心 阿息観 10:00 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 1,500円 西山 海良	26 先負	27 仏滅 ▽仏教入門講座 14:00 普照殿 森田 泰澄 ▽遊翠の心 茶の屏 竹翠亭 要問合せ	28 大安 ○不動明王縁日 14:00 不動護摩堂 護摩祈禱/法話 ▽遊翠の心 水墨画 14:00 竹翠亭 要予約 支具料 2,000円	29 赤口	30 先勝 ▽御詠歌初級講座 14:00 光明殿 鈴村 智弘
★お寺でおとまり会						
☆夏休みラジオ体操 6:30 五重塔前						
★永代供養受付定休日				不動明王		
31 友引	1 先負	2 仏滅	3 大安	4 赤口	5 先勝	6 友引

興正寺ラジオ体操カードあり 目指せ皆勤賞!!

ラジオたいそう

(期間)平成29年度 7月21日(金)~27日(木) ※雨天決行 雨天時は西山本堂内にて (場所)五重塔前
(時間)朝6:30~ ○6時45分~おつとめ法話 ○7時00分~おそうじ(希望者のみ) ※おそうじに参加される方は、可能であれば雑巾をお持ちください